



# 港工同窓会

## ニュース

第22号

令和5年9月20日発行

発行責任者 前田武男

『歳を重ねるにつれて』

港工同窓会会長

前田 武男



皆様お元気ですか？

今、私たちの世の中では終りの見えないコロナ禍が続き、戦争も起きています。格差や不平等(ふびょうどう)差別の問題も解決できていません。予測不能で不確実な世界をなんとか生きています。そんな中、皆様方には如何お過ごしでしょうか？

私は新年のご挨拶(ホームページ)でも申し上げました通り、一昨年はギックリ腰・昨年は「ザ痛」年末には親指の腱鞘炎(けんしやうえん)で親指が痛く、満足にペンも握れず年賀状を書くのもやっとの有様と満身創痍(まんしんそうじ)ですが、体力の衰(おとろ)えを感じるものの、すこぶる元気です。今年の五月で満91才になります。平成元(198)年に再興された同窓会も、今年で千支(えん)のみまわり目の年数34年が経過しようとしております。

振り返って見ますと同窓会は昭和36(196)年ごろに活動休止以来、約28年間の長きにわたる休眠時代を経て再興されました。再興にあたっても紆余曲折(うよきょくせつ)こみいった事情ですんなりいかずに、いろいろに変化する(こと)があったようです。

その後の同窓会は母校の廃校を初めとする多くの波風がありました。挫(く)けそうなこともありました。歴代の理事や会員の皆さんの支えで、なんとか耐えて参りました。

そんななか唯一、私の片腕として全面的に支えてくれた「心の友」同期の加藤先生(故人)も病に倒れ、又、昨年は同窓会に一番厚意であった和泉(14代校長)先生もお亡くなりになり、又、今度は杉野先生(以降先生)の突然の訃報(ふくほう)です。先生には特に持病はなく、病名については急なことなので今のところわかっておりません。

先生は、六郷工科高校(以降学校)内で毎月行つた理事会や総会等、会場使用の折衝・協力をお願いしていましたが、近々定年退職することが決まり、2月18日の理事会で今後どうするか、先生を交え検討(けんこう)同月24日副校長である高柳・千葉両先生と打合せをする段取りを付

けていただきました。当日、加藤誠理事と私、先生にも同席していただき打合せを行いました。

学校側では、土・日・祭日は休みなので対応はできないとのこと。今迄は、先生がお休みにもかわらず、わざわざ学校に来ていただいで会議場所の設営やお茶の用意などをしていただいていたのです。

そこで、理事の都合にあわせて木曜日の午後6時からと決まった次第(しだい)です。又、「施設使用願(い)」の提出や大変手間(か)かり面倒(めんどう)な連絡係(けい)りを加藤誠理事が引き受けてくれました。加藤理事には有難く、大変感謝しております。

打合せ終了後、校長先生が在校とのことなので、福田校長にご挨拶し、別れぎわに杉野先生にも、「これまで色々無理なお願(い)、大変お世話になり、本当に有難(う)ございました。」と挨拶したのが最後となりました。

が、先生の「ほっと」したような表情と、「これからも協力しますよ」と言った言葉(ことば)が忘れられません。今にして想(おも)えば私に「いや」「同窓会」を「永く続けて下さいよ」という遺言(いご)であったような気がしてなりません。

歳を重ねるといつことは親しい人々や大切な人との別れに「より多く耐え続ける」「ことなのか」と私はそのような人達の分まで「しびごとく」生き抜くつもりです。

また、「こんなこともありました。平成14年3月、都の肝煎(きもい)りで「大田地区単位制工業高校(現六郷工科高校)」の開校準備室が設置され、港工の伝統(でんとう)を引き継ぐ学校だからとかなんとかうまい話で参加要請がありました。しかし、私達は母校を廃校にするような都になんかに「協力なんか出来る訳ねえだろう!」とお断りました。

その後、当時全国工業高等学校協会の会長でもあった和泉先生(母校14代校長)より連絡があり、新設校内に同窓会の場所(母校と同時に廃校になった羽田・鮫洲等々の同窓会共用スペース)しかし他校は同窓会活動はしていない(を用意し、自由に利用すること)が出来るとのことであったが、確認のため後日都庁で打合せをすることになりました。当日、私と加藤先生・森川副会長(故人)の3名、先方は萩原新校々長・和泉先生・都庁準備室担当課長・職員3名で詳細打合せを行いました。校舎は平成14年度建設開始、16年3月に完成、

4月開校の予定で、設計には校内に同窓会の場所(共用スペース)が反映されているので、そういつことならばと参加することにしました。

しかし、問題山積(さんせき)、例えば学校設置に伴う近隣説明会の騒音や風紀が悪くなるのでは等諸(もろもろ)の問題に対し、役人特有な上から目線で学校は開校することになっていて、先の問題等についても通り一遍(とおひら)いっぺん!うわべだけで誠意のない(の説明でなんともかみ合わない。そんな説明に怒った住民の一人が「おまえら何いってんだ!俺たちには生活が掛ってんだ。300人から500人位集めて、学校設置反対とデモってやろうか。それとビケ張って、沖縄みたいに工事車両一台も入れさせないぞ」、それから「けんけん、がくがく支離滅裂(しりめつれつ)筋道が立たずめちゃくちゃになること」(会場は騒然となります。

説明会終了後、その役人に「どうするんですか」と聞いたところ、「しれっと(けろっと)して何も問題にするものではないという態度、本庁でなんとかするでしょう」と無責任な返事。

「がっくり(張りつめた気がゆるんで元気が抜けるさま)」、なんてこんな役人のために!、だけど頭をかかえている萩原先生を見ていると、なんとかせねはじ!

そこで私がPTA会長をしていところ、校(母校)私(し)ともお世話になった元PTA会長で今村さんという方がおられます。今村先輩(故人)は当時大田区の区議をされておられ、学校にもっとも近い町会・商店会の会長をされていました。「御無沙汰しております」と連絡すると「おう、前田君元気そうだね。えーわかっているよ。お願いごとかなにか相談だろう。早い方がよさそうだね。又し振りに一杯やろう。そつたな新橋の例(れい)のところ。6時でどうだ」。その例のところとは、以前旅館で、それを改装した割烹(かっぽう)料亭で料理はまあまあ料金もそこそこ、すべて個室で庭は落りついてなんとも粹(いき)で風情(ふせい)があり、芸者も呼べて、東京では珍しい一見(いちげん)いちげん(さんお断り)店に全く関わりのない初めての人は入店を断られる(の高級料亭です。

芸者といってもピンからキリまで、慰安旅行の酒席などに呼ぶ無芸者(芸のない)とは異なり、東(あずま)をどり(新橋演舞場が会場とな

る東京新橋組合が芸者衆の踊りを中心に開催する公演)に出演した芸者さんをこの店では呼ぶことが出来ます。

東をどりは京都の都(みやこ)をどり(京都祇園甲部歌舞練場で芸妓(げい)舞妓さんが日頃のお稽古(けいこ)の成果を披露する祭典)と双壁(そうへき)とちがいがすべれているとも定めかねる二つのすくれもの(をなすものです。

そこで芸者さんと呼んでも銀座の高級クラブより安いので、勤務先も近いこともあり先輩の紹介で得意先の接待に利用することになります。

余談はこれ位で!、あまり関係なかつたかな!!

当日、例の場所に出向くと、女将(おかみ)さんが「あらー前田さんお久しぶり、今村さんお待ち兼ねよ、今迄めたしがお相手してたの!」。先輩にこれまでであった経緯(いきさつ)を話し相談すると「わかったー全面協力するよ!との返事をいただきました。そこで先輩には近隣説明会に出てください如何に日本の工業が大事か!、大田区には町工場(こうば)が多数あり、その中には宇宙開発に必要な宇宙ロケットの貴重(たぎやく)な部品を作っている会社もあります。又、古

い話になります。が母校を卒業してビクターという会社に入社、家庭用ビデオの開発に携(たずさ)わったものもおりますなどの実例をあげ、その基礎となる高校教育が如何に大切かを熱く語っていただきました。建設反対の激しい地区には、先輩と一緒に訪問し、出来ることはやり(例えば学校わきに交番を誘致するなど)、出来ないことは真摯(しんしん)に説明しました。

その後は大きな動きはありませんでした。

我々の気持が少しは通じたと思っております。又、都の担当者のお話では近隣説明会には都・区議の皆さんには応援をお願いしてあるので宜しくとのことであったが、先輩以外の議員の先生方は誰(たれ)一人お見えになりませんでした。

しかるに開校記念式典には来賓として多数参加され、もっともらしい祝辞を述べられていて、なんともしや・はや「何を今更」と呆(あき)れてしまいました。

いま一つ私が忘れられないことがあります。それは都立六郷工科高等学校と校名も決まり、認可された頃だと思えますが、学校との初めての打合せの場で若い先生が

開口一番「我が校は港工業とは一切関係ありませんから」と母校を否定するような発言があり啞(あ)然(ぜん)としました。それを聞いた加藤先生が「関係ねえのがこんなところに居る必要ないな。前田、帰ろう」。私も「これから最後の近隣説明報告会があるけれど、先生よー強(こわ)もててうるさいのが二、三人居るけれど(ハッター)うまくまとめや」と帰えろうとしました。

慌(あわ)てたのは萩原新校長「前田さんちょっと待って下さい」「萩原校長、これはどうゆうことですか、今村さんも港の関係者ですから今夜の説明会には出ませんからね(ななび)ゆづり悶着(もんぢやく)もんぢやくもめ(も)もめ(も)もありました。

それから開校10周年記念行事があったころか、あるいは15年後であったかどうか定(さだ)かではありませんが、新校長が赴任して来(き)ます。その先生(以降X)は、母校で先生をしている時期に、その年卒業の生徒会長を呼び付け、訳(わけ)はわかりませんが「同窓会に入るな」といった先生です。(加藤先生が生徒会長に確認)

Xが新校長となると、同窓会に対する風当たりが一変します。今迄、自由に利用出来た同窓会の共用ス

ペース(現資料室)が、ある日突然PTA専用とか、なになに専用とかと利用が出来なくなりました。しかし、よくよく考えてみれば学校は学校で管理するもの、そこへ我々(他校の同窓会)などの余所者(よそももの)が自由に出入り出来る訳がない。同窓会が自由に使えるなどの甘言(かんげん)かんげん(など)に惑(まど)まど(わ)さわれ、今迄は余程(よほど)厚遇(こうぐ)こうぐ(さ)されてきたのだと感謝せねばならない立場であったと思います。

又、母校が廃校となり初めて学校のご厚意で、平成16(2004)年度の定期総会を会議室をお借りして無事開催することが出来ました。

その折、来賓として萩原校長からお祝辞をいただきました。

それ以降、定期総会には歴代校長からお祝辞をいただいておりますが、Xが校長になってから出席(しゅん)いただいておりません。このような校長の下(もと)、杉野先生は(同窓会関係のことについて)相当(たうたう)ご苦労(ごくろう)やいやな思いをしたのではないかと、それでも毎月の理事会の部屋の確保大変(たむ)だったと思えます。第二の人生を歩む直前にご逝去(せいせいきよ)せられ、残念です。

先生は私の長男(55才)と同じ年だと伺(うかが)っております。息

子はサテリーマンを定年退職すると第二の人生として国立(こくりつ)の名古屋大学客員准教授として、先生と同じように教鞭(きょうべん)きょうべん(を)とっております。

先生は第二の人生をどのように過ごしているつもりだったのか想像すると胸が痛みます。無念です！先生、本当に本当に永い間(ま)有難(う)ございました。深く感謝するとともに、「冥福(めいふく)をお祈り申し上げます。

追伸

今回、同窓会ニュースの発行が異常(いじょう)に遅(おそ)くなってしまいました。これはすべて私の責任です。というのは4月の理事会の折、理事の皆さんから杉野先生の同窓会に対する功績(こうせき)と追悼(ついでん)ついでん(文)を入(い)れてほしいという申し出がありました。ですが、先生の功績は多々ありますが、これを文章にするとなると誠にむずかしい。一夜・二夜と徹夜(てつや)してもままならず、時間はかりが過ぎていきます。

ほかの原稿が出来ているのに私の原稿だけが出てこない。これが遅延(ちえん)の原因です。誠に申し訳なくお詫(わ)び致します。今後とも宜しくご指導の程お願い申し上げます。

母校の施設・設備について

(故)杉野 栄一 (港工同窓会理事・港(全) 28期A卒)



平成16年4月に開校した六郷工科高等学校も今年度で20年を迎えます。今回は、20年を迎えた六郷工科高校で我が母校である港工業高等学校で使っていた設備機器などがまだ活躍していることを報告します。

まずはオートモビル工学科(自動車科)です。ここでは、平成元年に購入した日産シルビアが3台と平成7年に購入したディーゼルエンジン用の内燃機関性能試験装置が実習で使われています。シルビアは現在では珍しいフロントにエンジンがあり後輪で駆動するフロントエンジン後輪駆動式の自動車です。駆動装置の分解組み立て実習で使われています。実習で使われている他の車両としては、マツダのデミオ3台とトヨタ86の3台があります。もうひとつの内燃機関性能試験装置は、ディーゼルエンジンの出力馬力とトルクを測定

する装置です。ガソリンエンジン用は数年前に更新され、電子制御のエンジンが搭載されていますが、ディーゼルエンジンの方は更新されずにかどうかこうにか使っていました。ついには昨年11月頃、アクセル部分が壊れ現在修理中です。早く更新しないと部品がなくなるとメーカーの方から言われています。

プロダクト工学科(機械科)とテュアルシステム科で使っている旋盤1台とフライス盤が母校から来た工作機械です。実習に使われている旋盤は六尺旋盤がメインとなり10数台の六尺旋盤が並んでいます。写真に写っている作品は機械加工技能士普通旋盤作業の二級と三級の課題作品です。

システム工学科(電子・電気科)で使われている実験装置には、直流電源装置、電動発電機実習装置、直流複巻電動機装置など数多くの実習装置がありました。購入年度は昭和63年度と平成2年度がありました。久しぶりに昭和の実習装置を見ました。これらの装置は、おもに3年生の電気実習などで使

われているのですが、傷やへこみがないためとても大切に使われていることがわかりました。また、システム工学科の科長は平成9年から15年まで定時制で教壇に立っていました。

まだまだ、母校の授業で使った実験装置などは六郷工科高校でも大活躍です。今後も大切に使うつもりです。



シルビア



内燃機関性能試験装置



各種電気実験装置



直流電源装置



課題作品



旋盤

返信ハガキからの近況・思い出(特別会員令和5年度)

旧(教頭)定 市川 勝緒

いつもご連絡ありがとうございます。靖国神社、桜開花の報を聞き、コロナの完全終息に夢をたくしております。

皆様のご発展を祈念致します。

敬具

旧(数学)全 田神 仁

コロナ禍とはいえ、総会中止残念です。ただ、来年は実施できそうな気配ですね。

私は、相変わらず法政大学と武蔵野大学の非常勤講師として、教職科目を教えています。

以前は、数学研究会で六郷工科の定時制にお邪魔したことがありますが、最近はおびきだしてあります。

会員の皆様のご健康とご多幸を祈念しております。

旧(自動車)全 豊山 州生

いつも御連絡ありがとうございます。小生にとってはこの会に出席させていただけるのが人生最後の楽しみであります。今後ともよろしく願っています。

旧(電気)全 山田 信幸

中国武漢発「新型コロナ」のパンデミックで失われたこの3年間！悔しいですね。

ロシアはウクライナに侵攻し、台湾海峡は波高しです。二人の独裁者はマスクワで会談し、世界の情勢は深刻です。

所で前田会長！益々ご健筆で楽しく拝読しました。又先日、「ご息がTVに出演され華麗な手さばきで視聴者を魅了していましたね!!」

息子さんは美男子ですね。春が来るたび、又年を重ね気がつけば90歳を超えた私がいいます。

老いは辛く、淋しいこともありますが頑張りますよ!!

旧(自動車)全 中井 泰也

同窓会ニュースありがとうございます。此の度は臨時号という事で感謝しております。又、会長より激を頂

いただき恐縮しております。私共のクラス(第四期卒自動車科)は、現状連絡がとれるのはおりませんが、私一人ですが、頑張りたいと思っております。

旧(体育)全 小笠原 将幸  
思い出

①教科の体育で全員、プールで25M完泳。

②行事で富津臨海水泳の実施(遠泳も)。

③教科体育でフォークダンス指導と民踊の指導をし、放課後も教職員と練習もした。

④体育祭で民踊のソーラン節、日光和楽踊り、大漁唄い込みなどの実施。

⑤学校祭に近隣女子校生を招き、フォークダンスの実施。

⑥合宿にバスケットボール部や柔道部を引率指導した。

⑦1964年(昭和39年)に5月、

11月迄、東京五輪の役員として選手村に出張し、学校の勤務から、派遣されていた。

旧(電子)全定 大谷 忠雄

役員の皆様さんお世話さまです。妻が「植物状態になって死亡したのを機に「日本尊厳死協会」に入会し、いろいろと勉強しています。

「ペンペンコロリ」を依頼し、日夜努力していますが、最近は何もなかなかなんことを聞いてくねず研究もはかどりません。

目は悪くなり、耳も聴くことが出来ず、何となく生活できなくなっています。

謝しています。(6月18日)

旧(英語)全 甲斐 徳隆  
人生は1回きり!

だから、今日という日を精一杯生きていきます。

旧(事務) 湯田 省三

先日、六郷校舎を初めて見学させていただきました。

旧(数学)全 栗原 幸一

まだまだ非常勤教員を続けています。担任した生徒達(E1組)は50才台後半のはず。元気でいることを祈っています。

旧(社会)定 藤崎 ミヤ子

ご連絡ありがとうございます。年齢をとり、一人でできるのを家族が心配します。足元がつかえやすく、「ころびそう」になるので、私も家族に迷惑をかけてはいけなそうと思ひ、言葉にしがっています。というわけで、「ご案内をいただくのも、そのうち」終了で「と思っております。

同窓会をもらあげて下さっている松岡様はじめ、皆様には本当にありがとうございます。

2023.3.30

藤崎 ミヤ子

旧(国語)全 吉川 英雄

港工に新規採用教員として奉職してから、早いもので43回目の春を迎えます。

平成29年3月に定年退職し、南葛飾高校で第2の人生をスタート。

今年で6年経ち満期退職ですが、まだまだ体も心も元気なので、4月より定年退職した竹台高校で第3の人生をスタートさせます。

やはり学校現場が好きなようです。来年こそは皆さんとお会いできることを願っています。

旧(数学)全 西角 亮一

港工50周年記念誌を見て歴史ある港工に努める事が出来、感慨深いです。その誌の中に工業高校らしい図案の港工祭ホスターが多数あり、生徒達の心意気を感じました。又、その時々の様子が浮んで来ます。しかし、時の流れとはいえ校舎(歴代の)を見る事が出来るのは、この記念誌だけに残り残念でなりません。

旧(英語)全 十倉 有紀

現在、駒場高校におります。早いもので65歳定年第一期生になっただけです。あと10年がんばらねば。。。。

旧(国語)全 矢部 玲子

拝啓 いつもお世話になっております。

標記の件、まことに残念です。事務局の皆様のご尽力に心より感謝いたします。

当方、北海道文教大学国際学部国際教養学科の教員を勤めております。ご入学をお待ちしております。

敬具



訃報 (敬称略)

昨年未臨時号掲載後の受信分です。

港(全)	3期E	岡田	逞
港(全)	5期E	畑野	純夫
港(全)	6期A	井上	恵靖
港(全)	6期E	竹内	旭
港(全)	7期P	吉野	満也
港(全)	28期A	杉野	栄一
港(定)	9期C	山元	稔
港(定)	13期MB	高橋	邦夫

●ご冥福をお祈り申し上げます。

再興35年の港工同窓会

活動について

会計理事

港全 16期A 松岡 信之

前回30周年記念総会を開催してから、早5年を経過しましたが、その間、コロナ禍のため、活動休止の止む無きに至り、令和元年秋の六郷工科高での六郷祭参加を最後に、以後、行事を自粛して来ましたが、その間、理事会は最小人数で、ほぼ毎月行い、会員皆様の返信ハガキお便りと、前田会長に執筆をお願いした寄稿文を中心に、会報、港工同窓会ニュースを編集、作成発行して来ました。

理事会の場所についても六郷工科高が使えなくなり、大井町駅前の品川区施設を借用しました。その後、昨年2月から六郷工科高での開催が可能になり、再開しています。

但し、これまで同窓会理事で六郷工科高職員として開催の準備をして頂いていた、杉野先生が今春3月に急逝され、新たな対応に迫られています。当面、理事会の開催についてはご了解を頂いています。週末は職員不在につき、従来の土曜日は原則無理なので、平日の夜

間(18時から19時30分)になりました。

今後六郷祭参加、総会開催等六郷工科高との連携は続けていきたいので、慎重に対処します。

新橋駅烏森口近くの旧桜田小跡地にある、港区施設会議室の使用が出来そうなので検討中です。思いつきの地、駅近で便利かと思いません。

コロナ状況によりですが、来年の総会は実施出来るのではないかと考えています。

その場合、どんなイベントなら皆様に参加願えるのか、ご意見を伺いたいと存じます。

前回は初めて屋形船を企画、準備したのが中止になり、今回再実施するか。

従来のピュッフェ宴会形式か。もしくは、近郊(熱海、箱根等)での一泊旅行も格安で可能です。

会員皆様のご希望、ご提案を返信ハガキにてお寄せ下されば参考にさせていただきますので、ご回答のほどよろしくお願い申し上げます。

訃報等により賛助会員数が減少していますが、ご寄付が増加しており、運営費節約の効果もあり、会報発行を継続出来そうです。ご理解、ご協力をお願いします。

「ちょっと泳いでみませんか」

マスターズ競泳にハマってしまった私の話

山下 耕作 (港工同窓会理事 港(全) 43期E2)

港工を卒業、就職し、運を味方につけて、秤の老舗と呼ばれる企業に開発として今も働いています。

所帯を持ち、子供も生まれた30代。当時、体重は92キロになり、危機感を感じ始め、とある知人からの「運動しないの?」一言で一急発起、ダイエットも兼ねて水泳をスポーツジムで再開しました。家族からカッコいいと言われたい、それだけの理由です。

ちなみに港工時代、「一応」水泳部に在籍していました。当時顧問の先生は電気科の諸富先生です。泳ぐ事とは無縁の体形で、夏になると作業着、白いランニング姿で電気科職員室に座り、団扇を扇いでいる、特に部活の練習で生徒を泳がせて鍛える・・・ことはありません。校外で泳ぐ事も一切なし、練習らしい練習はせず、学校の4コースしかないプールが使える夏場でさえ、水に浸かって涼を得るだけ。さらに水質管理の考えもなかったため、プールに大腸菌を発生させたことで保健所から一定期

間使用禁止を通告。体育指導の梅原先生より叱られた事しか思い出にありません。文化祭も水泳部で出店した金魚すくい部員との折り合いがつかず、文化祭の後半は腹を立ててする休み。一度だけ競技会の標準記録を聞いて、わが校は全く通用しないと諦め競技の世界には一度も入らず、もちろん時間を計測したことも高校の3年間は一度もありませんでした。今思うことも怠惰な甘っちょろい活動で、先生や同級生にご迷惑をおかけしました。(当時の部員のみんな、コメント下さい。)

現在の話に戻りますが、素人同然で始めた水泳、適当に泳いでいた中、夜になるとお隣のコースで行っている「マスターズ」用のレッスンが目に入ります。みんな絞れた体でとっても速い。それを見て率直に凄いと感じながらも「俺には無理」と横目で見ていた40代、「途中で立つても良いからやってみなさいよ」と声を掛けられ恐る恐る参加。半年経つと泳がないと

肩と足がムズムズする程の中毒患者笑となり、今では、競技会に向けて年齢に抗いながら技術を磨いている状態です。このような経緯で始めた競泳も、今では体重70キロを維持しています。3Lから始めた水着もMサイズ、90cmあったウエストも80cmを切り、洋服もサイズダウン。風邪も引かず、無心で泳ぐ事でメンタルも強化され、お陰様で仕事に心が潰されることも無く50代を迎えました。

私が競技会として参加する水泳の世界でいう「マスターズ」は、様々なレベルの市民スイマーが参加できる全国規模の競泳組織があり、18歳以上で誰でも参加可能。元オリンピックアンから、90代の往年市民スイマー、時には芸能人など、誰でも受け入れてくれます。もしかしたら同窓生で参加されている方もいらっしゃるかもしれません。都心の大会では、オリンピックで使用された施設を使用して大会を開催します。世界のトップスイマーと同じ場所で泳げる事も魅力です。年代別で順位も公開され、上位入賞者にはメダルや賞状などの栄誉も受けられます。

私も競技会に参加しますが、子供のころから競技の第一線でやっ

てきた人には全くかきません。特に私と同じ団塊ジュニア世代で競技人口も多く、メダルは遥か遠いのです。今、密かにに考えているのは、少しでも長く生きて、速い選手が天に召され、競技人口が減ったころにメダルを頂く作戦です。なかなか息の長い作戦ですが、それぐらいの気持ちでコツコツ続けて息絶えるまで現役スイマーでありたいです。

最後にダイエット目的で挑戦された方は、ビート板を使って25mのバタ足を出来る限り多くやる事をお勧めします。太ももの筋肉を多く使うので効果的です。時間はかかっても構いません。ビート板の浮力もあり、呼吸も楽です。他の泳ぎ方でも良いですが、ポイントは諦めずに続ける事で体の「痩せる事に抵抗する」働きを止めることが出来ます。週に二回ぐらいのペースで泳ぎ、2か月ほどすると、今までより泳ぐ力が身に付き、脂肪の減少が実感できる時が来ます。このようにコツコツ長くやる自信がついてきます。気力、体力を整えて、この大変な時代を元気に乗り越えていきましょ。

事務局からお知らせ

◎会則改定による賛助金のお願

令和4年度の総会中止案内及び会報は、恩師及び賛助金納入者の一部(700部)、秋の臨時号も同様に送付しました。

賛助金は342名の方に送金戴き、前年比約10%の減少でした。

本年の会報発送は、恩師及び賛助金納入者の一部に絞り、財政の効率化を計ります。なお、匿名の方から寄付金を戴いたことで、秋の臨時号も恩師及び賛助金納入者のみに発送を予定します。

同窓会の収入は会員の賛助金・寄付金のみです。会報継続のため皆様のご理解をお願いします。

※郵便局のATM機を使えば、

①土曜・日曜・夜間も振込出来ます。

②同封の振込用紙をそのまま機械に挿入し、金額のみ押せばOKです。

※金額の変更訂正可能です。

③窓口の待ち時間が早いです。

☆銀行口座振込みを受け付けます

銀行 三菱東京UFJ銀行

支店 433 新橋支店 普通預金

口座番号 4753403

口座名義 港工同窓会会長前田武男

※必ず名前の前に会員No.を記入し

てください。

出来れば振込連絡をお願いします。

◎卒業生への諸証明発行について

都立港工業高等学校の閉校に伴い卒業生への諸証明の発行事務は都立六郷工科高等学校において受け付けています。

〒144-8506

大田区東六郷2-18-2

京浜急行「雑色」下車

国道沿い徒歩3分

TEL 03-3737-6565

ご不明の点につきましては、

東京都教育庁高等学校課

TEL 03-5321-1111

へお問い合わせ下さい。

◎会員数の把握状況		R5年5月現在	
区分	在籍数	確認数	(亡)
正会員	高輪第一本科	771	31 (115)
	高輪第二本科	768	17 (97)
	麻布第一本科	485	57 (180)
	港・定時制	3,867	490 (130)
	港・全日制	9,774	3,057 (491)
計	15,665	3,652 (1013)	
特別会員	旧校長	15	3 (12)
	旧職員	626	212 (169)
	計	641	215 (181)

☆令和4年度の収支状況(案)

前期繰越額		450,255.-
収入の部		867,501.-
臨時会費		0.-
賛助金 342名	684,000.-	
寄付その他	183,501.-	
支出の部		752,451.-
総会費 0名	16,500.-	
通信費	248,356.-	
広報費	406,584.-	
文化祭費	0.-	
事務その他	81,011.-	
次期繰越額		565,305.-

>同窓会の連絡先について<

住所変更の連絡、名簿内容の質問、同窓会ニュースへの寄稿、クラス会他近況等々は下記事務局又はHPへお願いします。

記

〒278-0051 千葉県野田市七光台 158-5

港工同窓会 松岡信之(会計理事・港16期A)

TEL 080-1278-1584 FAX 04-7129-0916

E-mail: [matsuoka@minatokou.net](mailto:matsuoka@minatokou.net)

・ホームページ: [www.minatokou.net](http://www.minatokou.net)

◇編集後記◇

昨年は同窓会ニュースを会員の内、恩師及び賛助金納入者に限定して会報を発送しました。賛助金の減少が続く中、匿名の寄付金をいただきましたので、秋の臨時号もホームページだけに掲載予定を変更し、発送させていただきます。

同窓会ホームページは、閲覧数が18000を超えておりますが、会員の皆様からの投稿が届きません。つきましては、クラス会の案内・連絡などに活用いただければより早く通知できます。投稿はメールでOKです。又は、原稿を事務局宛に郵送でもかまいません。クラスメイトの動向等問合せにご活用ください。

港工同窓会・理事会は、コロナ禍でも都立六郷工科高校で継続開催してきましたが、同窓会理事で同校教諭を務め、同窓会ニュース記事も毎号投稿された杉野先生が、本号の掲載記事を編集したあと、本年退職直前に突然ご逝去されました。

前田会長も杉野先生にお世話になったと語られており、これまでの先生のご尽力と同窓会活動を盛り上げる努力に感謝申し上げます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(加藤誠)